

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

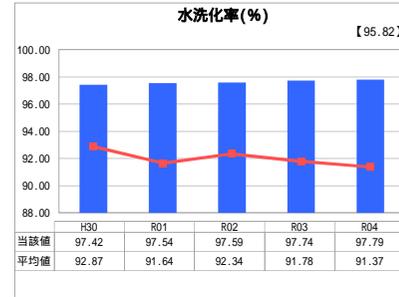
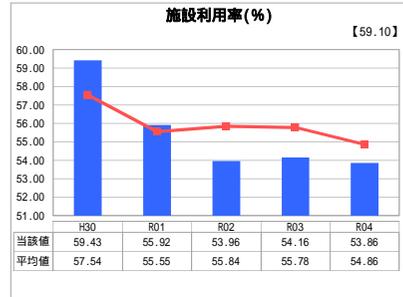
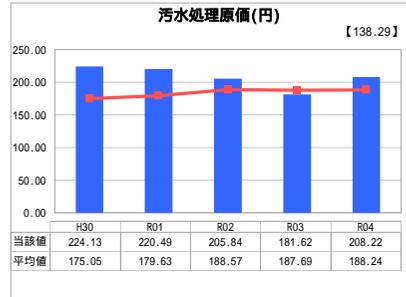
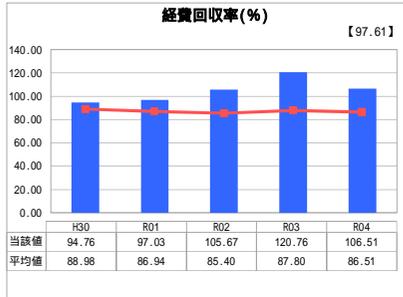
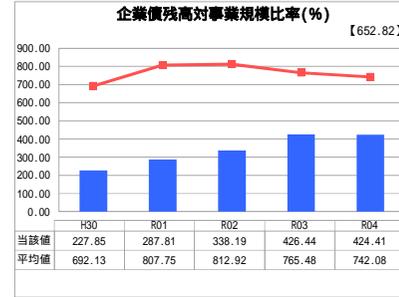
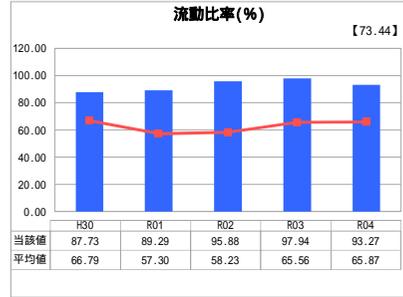
兵庫県 丹波市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	59.37	17.63	71.27	4,262

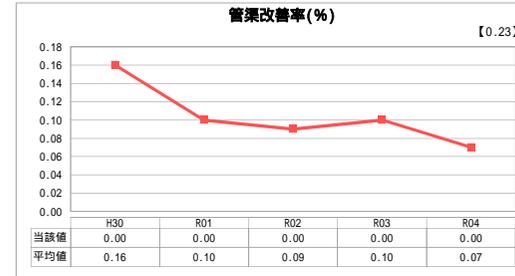
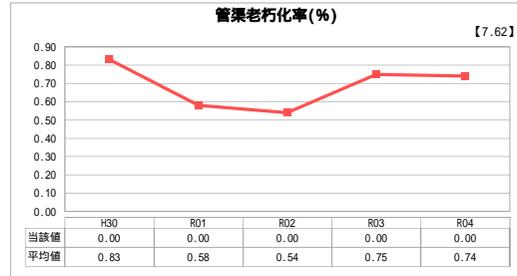
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
61,717	493.21	125.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,821	4.45	2,431.69

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、類似団体平均を下回っているが、経常収支は黒字である。  
 累積欠損金比率は、類似団体平均を下回っているが0%でない。  
 流動比率は、類似団体平均を上回っており、支払い能力は安定している。  
 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を大きく下回っているが、資本費平準化債により増加傾向である。  
 経費回収率は、令和2年度の料金改定の影響により類似団体平均を上回っている。  
 汚水処理原価は、類似団体平均より高くなっているが、横ばいで推移している。  
 施設利用率は、長期的には人口減少等の影響により減少傾向である。  
 水洗化率は、類似団体平均より高く、微増傾向である。

### 2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率及び管渠改善率は、耐用年数を経過した管渠がなく、ともに算定されていない。  
 公共下水道の管渠延長96km（雨水管渠4km含）を有し、その改築更新については、令和16年頃より順次耐用年数を経過するため、計画的な改築更新に向けて財源確保に取り組み必要がある。

## 全体総括

経営の効率性及び財政の健全性を示す指標については、概ね良好な数値であり、健全な経営ができています。  
 当市は中山間地域に位置しており、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設、コミュニティ・プラントを含めて計31の処理場と管渠約740kmを有している。  
 これらの下水道施設の法定耐用年数が経過する令和16年頃から、改築更新費用の増大が見込まれるため、ストック・マネジメント計画に基づき処理施設の長寿命化対策を図りながら、「次世代へつなく持続可能な下水道」の構築に取り組む必要がある。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。